

令和6年度 合同点検の点検概要

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由(状況・内容等)	学校が希望する対策	点検結果概要	対策実施案と対策内容
1	外旭川小学校	秋田臨港警察署	外旭川字梶ノ目480「神田公民館」付近の十字路	「止まれ」「徐行」の道路標識が4方向のすべてでほぼ消えている。「止まれ」の方向に対しての道路標識が無い。小・中学生の通学利用が多い道路で、道幅も狭く、住民等の車の通行も多いため危険である。	「止まれ」「徐行」の道路標識のひき直し。「止まれ」の道路標識の設置。	・道路の地面に標示されている「一時停止」とその線、「徐行」の文字は消えかかっている。 ・道路はかなり狭く、車がすれ違うためには譲り合わなければすれ違うことができない。 ・一時停止標識がない場所になっている。道路の地面に標示されている「一時停止」は警察で標示したものではないため、塗り直しできない。 ・道幅は狭いが、この場所で人と車の事故が起きたことはないため、一時停止の標識を設置する予定はない。 ・道路の地面に標示されている「徐行」は市の道路管理者で標示したものではないため、塗り直しはできない。	・交通安全教育(市教育委員会)
2	下新城小学校	秋田臨港警察署	島合踏切前後の道路	踏切の前後が狭く、斜めになっており、歩行するのに危険である。	路面を整地し、ガードレールまたは柵を設置してほしい。	・踏切の前後は道幅が狭く、白線の外側にはほとんど歩道がない。 ・線路に近い場所の草が伸びており、歩道も一部陥没している場所もあり、歩きにくい。 ・線路の近くは土嚢が積まれているが、その先は斜めになっており、歩くと危ない。 ・踏切近くにガードレールや柵の設置にはコンクリートの土台を作る必要があるが、道路が狭くなり、歩くスペースがなくなってしまうことから困難である。	・踏切近くの草刈り実施済み(道路維持課) ・地面の陥没部分の修繕実施済み(道路維持課) ・交通安全教育(市教育委員会)
3	下新城小学校	秋田臨港警察署	下新城交流センターから五差路までの狭い道路	・道路が狭いうえ、通勤の車多く、かなりスピードを出している。中高生の自転車通学もあり、通学時危険である。 ・下新城交流センター前に『7時～8時 一方通行』の標識があり、時間規制で朝その時間は五差路方面に車は進めないが、朝、通学児童の背後から違反する車が来て危ない。	注意喚起のために標識や看板を設置してほしい。 路側帯白線の引き直しをしてほしい。 交通規制どおり朝の時間は車が通らないようにしてほしい。	・道路はかなり狭く、車がすれ違うためには譲り合わなければすれ違うことができない。 ・朝7時～8時は左手に進めという意味であり、右手の五差路側には進めないが、学校から情報提供を受け、駐在所と交番に連絡し、ドライバーに注意喚起を行う。 ・警察では新たに標識や看板の設置はしない。 ・歩道の白線が薄くなっている部分の引き直しをする。	・路側帯白線の引き直し(道路維持課) ・ドライバーへの注意喚起実施済み(臨港警察署)

No.	学校名	所管警察	通学路における 危険・要注意箇所	左の理由(状況・内容等)	学校が希望する対策	点検結果概要	対策実施案と対策内容
4	大住小学校	秋田中央 警察署	秋田市牛島西三丁 目3番付近道路	線路下の道路が狭く、歩 道もない。	道路の拡張と歩道の整備 をしてほしい。路側帯に 白線を引いてほしい。	・道路は4M幅でかなり狭く、車がすれ違うためには譲り合わなければすれ違うことができない。 ・路側帯の片側に白線を新たに引く。 ・道路の拡張は難しい。	・路側帯に白線を引く(道路維持課)
5	秋田西中学校	秋田中央 警察署	本校グラウンドと帯 状公園の間の道路	登下校で多くの生徒が歩 行しているが、道幅が狭 い。	道路の拡張または登下 校の時間帯の交通規制 をしてほしい。	・道幅が狭いため、車が通るときは歩行者が寄らないといけな い。 ・道路の拡張は土地の問題があり、難しい。仮に拡張しても、車 にとって通行しやすくなるため、交通量がさらに多くなることが予 想される。 ・時間帯交通規制は、学校が近隣住民の理解を得たうえで要望 があれば警察で検討する。 ・地面の「止まれ」と白線の停止線は薄くなっているため、引き直 しをする。 ・学校側の地面に「通学路標示」があるが、要望の反対側の入 口への表示は検討候補箇所とする。	・地面の「止まれ」と白線の引き直し (中央警察署) ・「通学路標示」の検討(交通政策 課)
6	雄和中学校	秋田東 警察署	寺村バス停前(雄和 椿川字川端)	行き交う自動車が多く、 横断するのが困難であ る。	手押し信号機を設置して ほしい。	・雄和中学校の生徒75人中、自転車通学は30人ほどいる。 ・点検した日中も行き交う自動車は比較的あり、特に朝の時間 帯は交通量も多い場所である。 ・白線の横断歩道があり、その場所で歩行者が渡ろうとすると、 自動車は止まっている。 ・土手側から自転車に乗ったまま坂を下り、坂の下でバランスを 崩して転んで怪我をする生徒が何人かいたことがあった。 ・警察で信号機の設置は検討するが、この場所から比較的近い ところに信号機があるため、必要性は低いと思われる。また、こ の場所にも信号機をつけるのは、信号機同士の距離が近すぎ るため、渋滞発生に繋がる。 ・生徒はこの場所を渡るのではなく、手前の信号機がついてい るところから渡る方が安全面から好ましい。	・手押し信号機の設置検討(秋田東 警察署) ・交通安全教育(市教育委員会)